

船橋市立湊中学校 グランドデザイン

湊中学校生徒憲章

- I 目標を持って生活しよう
 - ・自学に心がけよう
 - ・自己の生活を反省し、改善する力を身につけよう
 - ・自らを励まし、困難に立ち向かう勇気を持とう
- II 体力増進と健康管理に努めよう
- III 友達を大切にし、協力し、
助け合って学校生活を送ろう

めざす生徒像

- ① 自ら学び、考え、創造する生徒
- ② さわやかで、心のこもった挨拶ができる生徒
- ③ 思いやりの心を持ち、自分の言動に責任を持ち、行動できる生徒
- ④ 地元を愛し、地域に貢献できる生徒

校訓
自 自 自
励 律 学

学校教育目標

Change

Chance

Challenge

～変化に対応し、機会をとらえ、
挑戦する生徒の育成～

千葉県の教育

ちばの力で

- 「県民としての誇り」を高める！
- 「人間の強み」を伸ばす！
- 「世界とつながる人材」を育てる！

船橋市教育大綱

- ・生涯学び活躍できる環境を整え、生涯学習社会を実現する
- ・自立して、主体的に社会に関わること
ができる子供を育成する

学校経営方針 「教職員のやりがい・幸福度アップ」

和衷協同 率先垂範 感動共有



経営の重点 「かかわる」

- ◎自己存在感の感受 (自励)
- ◎共感的な人間関係の育成 (自励)
- ◎自己決定の場の提供 (自学)
- ◎安全・安心な風土の醸成 (自律)

Change (チェンジ)

変化を見逃さず、「対話」を重視した寄り添う指導

- 教職員と子どもの関わり
- 子どもと子どもの関わり

学び成長していく子どもたちを支えていくためには、まずは子どもを理解することが必要です。そのために教職員、子どもの「対話」を大切にして、子どもの「変化」を見逃さず、子どもに寄り添い、よりよい生き方を目指して自ら進んでいけるようにはたらきかけます。

Chance (チャンス)

機会をとらえることができる「学びの魅力」がある授業

- 子どもと子どもの関わり
- 子どもと教材の関わり
- 子どもと教職員の関わり

学び成長していく子どもたちを支える柱は「授業」であるにとらえ、教材、子ども、教師それぞれの関わり合いと、「学びの機会」「学びの魅力」を大切にして、「主体的、対話的で深い学び」に迫る授業を目指します。

Challenge (チャレンジ)

子どもが「考動」し、「挑戦」できる特別活動

- 子どもと子どもの関わり
- 教職員と子どもの関わり

子どもたちが、学び成長していくためには、自ら考え、判断し、行動することが必要です。行事、生徒会活動、学級活動では、関わりを大切にし、子どもを前面に出すことで子どもの「自己有用感」を高め、「挑戦」する姿が多く見られる活動を目指します。

保護者・地域との連携 (コミュニティ・スクールの充実)

子どもたちの生活は、「家庭」「地域」が基盤になっています。子どもたちの確かな成長のためには「家庭」や「地域」の教育力が欠かせません。私たちは保護者や地域の方々との連携に努め、共同して子どもたちの成長を支えていきます。